

編集後記

プラズマ・核融合学会誌の編集委員を仰せつかって2年目に入りました。様々な大学の先生方との繋がりができ、プラズマ・核融合学会の奥深さ幅の広さを感じています。低温プラズマプロセス、高温プラズマプロセス、プラズマ装置製作、プラズマ計測、プラズマ材料合成などプラズマに関わる研究や仕事にも沢山関わってきましたが、まだ経験のないプラズマ分野も存在することに改めて気づくことができました。さらに編集委員会は大学や研究機関の方が多く産業界の方はほとんどいないこともわかりました。今回の編集委員会への参加をきっかけに、産業界から編集員への新たな架け橋になればと思いました。プラズマ・核融合学会の学会発表や年会での学会発表など今までは学会に参加する側、学会誌を読む側の視点でお世話になってきましたが、学会誌を構成する側や学会の内容を確認する側からの視点に立った時、学会誌を作り上げる大変さと重要性についてとても勉強になりました。学会誌の作られるプロセスがわかり、それに携わるたくさんの関係者の協力によって成り

立っていることも良くわかりました。

最近では産業界で使用されるプラズマ用途も世の中のトレンドと共に変化していると思います。新たな取り組みとして、電池分野、エレクトロニクス分野、3Dプリンター分野、医療分野など需要も拡大しています。また、研究開発過程で打開策がないときのプラズマ頼みということも良くあります。プラズマへの期待はとても大きいと感じています。

私事の話になりますが、最近では各種サイエンスの公演、スポーツ理論、サッカーの指導者など多種多様な内容で、子ども達や企業、一般の方までお話する機会が増えました。その取り組み内容として、次世代を担う人たちに世の中にはいろんな技術があるよ、こんなに面白い世界があるよ、世の中はいろんなことが結びついて成り立ってるよということをもっと知ってもらい、様々なことに興味を持ってもらう活動をしています。一部メディアにも登場しています。プラズマ技術も含め自分の知見を後世に伝えられるような機会を広げていきたいと思っています。(曾根宏隆)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：花田磨砂也
副 会 長：大野哲靖 坂本瑞樹(推薦委員長：学会賞・男女共同参画委員長)
常務理事：榊原 悟(総務委員長)
理 事：渥美寿雄 居田克巳 稲垣 滋(企画委員長) 井 通暁(年会運営委員長・研究部会連絡委員長)
大原 渡 兒玉了祐(広報委員長) 古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長)
坂本克也 仙波智行(財務委員長) 高木浩一 高橋幸司(企業展示検討委員長)
田中康規 鳥養祐二 村上 泉(編集委員長) 山田弘司(推薦委員長：研究助成)
吉田麻衣子
監 事：前田達志 波多野雄治

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡(山口大) 応 用 田中康規(金沢大) 核融合プラズマ 居田克巳(核融合研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：村上 泉(核融合研) 副委員長：鳥養祐二(茨城大)
エディタ：三瓶明希夫(京都工繊大)、重森啓介(阪大)、高橋裕己(核融合研)、石澤明宏(京大)、大矢恭久(静岡大)
編集委員：伊藤 悟(東北大)、犬伏雄一(JASRI)、太田雅人(核融合研)、小田靖久(摂南大)、梶田 信(東大)、
葛山 浩(鳥取大)、河内裕一(名大)、熊谷公紀(QST)、篠原正典(福岡大)、白戸高志(名大)、鈴木陽香(名大)、
瀬戸春樹(QST)、曾根宏隆(豊田自動織機)、高橋一匡(長岡技科大)、武村勇輝(核融合研)、中村友祐(名大)、
成田絵美(京大)、難波慎一(広島大)、沼波政倫(核融合研)、信太祐二(北大)、浜地志憲(核融合研)、
廣田 真(東北大)、松岡清吉(QST)、文 贊鎬(九大)、本島 巖(核融合研)、柳生義人(九大)、山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第102巻第1号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2026年(令和8年)1月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: https://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。